

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月19日			
平成16年度	事業コード	11310	電話	042-769-8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉	課	
事務事業名	福祉タクシー利用助成			
予算上の事務事業名	福祉タクシー利用助成			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 3 節	障害者の自立支援と社会参加	63以前年度
施策名	第 1 施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市在宅重度障害者福祉タクシー利用助成要綱

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
在宅の重度障害者の積極的な社会参加及び生活圏の拡大を進める一助として、タクシーの利用を図り、その一部を助成することにより、重度障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳1・2級 特定疾患、小児特定疾患	
	対象数	単位
	12,994	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結事業所数 85社 ・平成15年度決算 対象者数 12,994人 交付者数 8,397人 交付枚数 535,944枚 利用枚数 418,929枚 所要額 209,464,500円 ・助成内容 500円券×72枚=36,000円(年間) 		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	相模原市障害者福祉計画	
計画年次	10年度～22年度	
	障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22) 道路・交通手段等の整備	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	福祉タクシー券利用枚数における交付率	利用枚数/交付枚数×100	利用枚数に対する交付率	78	78	78	78	78
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
		174,562	194,253	209,465	237,122	256,092
	人員・時間数	(0.1人・462H)	(0.1人・462H)	(0.1人・468H)	(0.1人・468H)	(0.1人・468H)
	人件費	1,230	1,230	1,185	1,185	1,185
	その他経費					
	合計	175,792	195,483	210,650	238,307	257,277
特定財源						
	対象数(人)	11,684	12,424	12,994	13,644	14,326
	単位あたり経費(円)	15,045.5	15,734.3	16,211.3	17,466.4	17,958.9

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	交付枚数に対する利用枚数の割合が7割を超え、毎年同じ水準を維持している。利用枚数増加傾向にあり、社会参加と生活圏の拡大を進める一助として達成度は高い。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 自立支援と社会参加には必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	障害者の自立支援と行動範囲の拡大のためには有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 同一対象者に対し、福祉タクシー利用助成と自動車燃料費助成の選択制を設けるなど、障害者の利便性、効率性を図る必要がある。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	在宅の重度障害者(特定疾患・小児特定疾患を含む)の生活圏を拡大している。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
タクシー利用助成と自動車燃料費助成の対象者を同一とし、対象者の日常の移動手段に応じ、自動車燃料費助成との選択制の導入について検討する。		福祉タクシー券利用助成対象者及び申請者の増加。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		横浜市 660円券年間72枚 川崎市 660円券年間72枚 横須賀市 600円券年間48枚
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 制度内の見直しを行い、平成16年度から福祉タクシー利用助成と自動車燃料費助成の対象者を同一とすることにより、福祉タクシー利用助成と自動車燃料費助成との選択制を実施した。本事業は、障害者等の行動範囲を拡大し、社会参加を促進する上で有効な事業であるため、今後も継続して事業を進めていく。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--